

- 「自動運転に係る制度整備大綱」を踏まえ、レベル3以上の自動運転の2020年目途の実用化に向け、道路運送車両法に基づく安全確保のための各種制度について、「ドライバーによる運転を前提とした制度」から「システムによる運転も想定した制度」に見直すことが必要
- このため、交通政策審議会の下に小委員会を設置し、自動運転車等の設計・製造過程から使用過程にわたる総合的な安全確保に必要な制度のあり方を検討

審議事項

自動運転を想定した保安基準のあり方や、自動運転車の点検整備に関する制度のあり方など、自動運転車等の設計・製造過程から使用過程にわたる総合的な安全確保に必要な道路運送車両法上の制度のあり方について検討を行う。

<主な論点>

- ・高度な自動運転を想定した保安基準のあり方
- ・高度な自動運転が可能な走行環境条件(場所、速度等)を設定する仕組みのあり方
- ・自動車の安全性に直接影響するソフトウェアの無線通信等による変更への対応のあり方
- ・自動運転等先進技術の整備のあり方
- ・自動運転等先進技術の点検整備及び検査に必要な技術情報のあり方



運転者に代わりシステムが運転する
高度な自動運転



限定地域での無人自動運転移動サービス



無線通信によるソフトウェア配信

スケジュール

- 第1回(9/3) : 現行制度の主な論点整理
- 第2回(10/12) : 関係者からのヒアリング
- 第3回(10/23) : とりまとめ骨子案審議
- 第4回(12/3) : とりまとめ案審議
- 平成30年12月 : パブリックコメントを実施
- 平成31年1月15日 : とりまとめを公表

委員

- ◎ 委員長
- 青山 佳世
- ◎ 鎌田 実
- 清水 和夫
- 下谷内 富士子
- 竹内 建蔵
- 高田 広章
- 鳥塚 俊洋
- 廣瀬 敏也
- 村木 美貴

◎ 委員長

- フリーアナウンサー
- 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授
- モータージャーナリスト
- (公社)全国消費生活相談員協会 顧問
- 東京女子大学現代教養学部国際社会学科教授
- 名古屋大学未来社会創造機構 教授
- JAFメディアワークス ITメディア部長
- 芝浦工業大学工学部機械機能工学科准教授
- 千葉大学大学院工学研究科 教授